

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		文化財保護管理事業				
	担当課・係名		社会教育課 社会教育・体育振興・				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	04 一生を通じて学ぶ学習環境の整備	
項		05 社会教育費	小分類		02 地域文化芸術の振興と継承		
	目	04 文化財保護費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		544	522	663	574	699
	財源 内訳	国県支出金	13	14	2	2	2
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	531	508	661	572	697
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	①町内に所在する文化財等（有形・無形・民俗・埋蔵・記念物） ②①を用いた学習機会を利用する者						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	①文化財の保護・整備と文化財保護思想の普及。 ②保護した文化財を公開・展示することによる学習機会の提供。						
⑤	事業概要						
	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財等保護管理（指定史跡整備／パトロール／火災防御訓練／芸能保存団体助成／伝統芸能記録保存） 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為への対応 校外学習等への対応（講師業務） 資料展示室の運営及び展示 						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	社会経済情勢の大きな変化により、文化財に対する価値観が変化しつつある。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	文化財保護法・宮城県文化財保護条例及び施行規則・色麻町文化財保護条例及び施行規則						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	1	1	1		
		目標値	0	0	0		
定義	農業伝習館資料展示室における、通常展示以外の企画展示を開催した回数						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名		H28	H29	H30		
A	単位：人	実績値	318	506	381		
		目標値	0	0	0		
定義	農業伝習館資料展示室における観覧者数						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	調査及び総括的な管理は町が行うべきであるが、業務量の増加に伴い、民間の発掘会社への委託も検討する必要がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	町内に所在する文化財は、それを題材とした生涯学習等に活用でき、今後「色麻学」を推進するうえでも重要なものとなる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 10	史跡の整備に関しても直営で行われており、最低限の費用である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	春の企画展において、「世界農業遺産」に関する展示を行い、取組みに対しては評価を得ている。

⑪	課長総括評価 合計点 37	指定文化財以外の地域の文化財の管理・整備に力を入れ、今後の展示事業等で活用していかねばならない。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		文化財保護審議会事業				
	担当課・係名		社会教育課 社会教育・体育振興・				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	04 一生を通じて学ぶ学習環境の整備	
		項	05 社会教育費		小分類	02 地域文化芸術の振興と継承	
目		04 文化財保護費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		101	0	101	0	67
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	101	0	101	0	67
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財等 ・町の文化財保護行政 							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
町の文化財保護行政が適正に行われているかを第三者の審議を受けることで、町内の文化財等の保護・活用の進展を図る。							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存審議会（年3回） ・他町村・機関の文化財保護・活動状況の視察 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
社会経済情勢の大きな変化により、文化財の価値観が変化しつつある。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町文化財保護条例及び施行規則（文化財保護審議会設置関係）							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位： 回	実績値	0	0	0		
		目標値	3	3	3		
定義	年間3回実施予定している審議会を開催した回数。						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位： 人	実績値	0	0	0		
		目標値	15	15	15		
定義	全5人の委員が、上記活動指標にある会議に出席した延出席者数。なお、目標値は全員が全会議に出席した場合の最大値。						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	町内の学識経験者による審議は、必要かつ有効と考えられる。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	行政の外部からの意見は貴重である。それにより今後の活動指針等が得られるため効果的である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	-
評価の説明 点数 8	条例に定められた報酬等以外の経費はない。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	外部の委員であるため、実績値は当日の都合により上下してしまう。

⑪	課長総括評価 内容を再検討しながら、さらにより良い形にしていく。資料展示室の運営や新規の文化財指定についても審議・助言をいただく。 合計点 37
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	